



議会だより

板野町 ITANOTOWN

<http://www.town.itano.fukushima.jp/add/gikai/>



- ～令和8年第2回定例会～
- P2～P3 定例会提出議案『一般会計補正予算』ほか
 - P4～P7 一般質問
 - P8～P9 全員協議会報告
- 『新型コロナウイルス等対策行動計画の改定』ほか
- P10 議員レポート・議会のうごき など

VOL
14

2026.9.5

板野西幼稚園
自分たちで育てた藍で藍染め体験をしました。
とてもきれいな色に染まって大満足です。

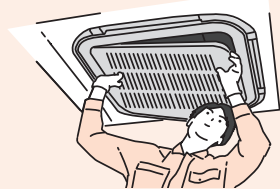
例会提出議案

会期は6月8日～6月17日
26 案件(報告6件・議案19件・請願1件)
全て可決されました。

令和8年度一般会計補正予算(第1号)

2,027 万円追加 《主な補正の内容と補正額》

町民センター費 +517万円



空調設備を整備するための
工事費 420 万円及び監理委
託料 97 万円。

学校給食費 +513万円

給食センターにある給湯加
圧ポンプ等の施設修繕料
249 万円及び町内に住所を
有し、町外の学校等に就学・
就園している児童・生徒・
園児の保護者に対する学校
給食費等補助金 192 万円。

隣保館費(施設等修繕料) +198万円

総合センターにある変圧器
の取替・処分費として。

特別会計繰出金 +60万円

介護保険事業特別会計への
繰出しとして。

専決処分の承認を求めることについて 令和7年度 後期高齢者医療 特別会計補正予算(第2号) 74 万円追加

後期高齢者医療広域連合納付金として 74 万
円追加。被保険者から納付された保険料を後
期高齢者医療広域連合へ納付するものであり、
前年度の保険料収納額を基に算定していた予
算を上回ったことによるもの。

令和8年度 介護保険(保険事業) 特別会計補正予算(第1号) 120万円追加

電算システム委託料として
120 万円追加。介護保険の
システム改修を行う。令和
7年度税制改正に伴う介護
保険料算定に係る改修業務
であり、2分の1が国庫補
助の対象となる。



予算関係

●令和7年度 板野町一般会計繰
越明許費繰越計算書の報告につ
いて

戸籍住民基本台帳費の社会保
障・税番号制度システム整備費補
助事業など、全10件、合計5、
443万円の繰越。

●令和7年度 板野町水道事業会
計予算繰越計算書の報告につい
て

建設改良費の配水施設整備事業
費4,213万円の繰越。



各提出議案の詳しい内容は、
板野町ホームページに掲載の
会議録をご覧ください。

令和8年第2回板野町議会定

条例関係

●専決処分の承認を求めることについて 板野町税条例の一部改正について

地方自治法の改正に伴うもの。
主な改正点は軽自動車税の環境性能割が廃止されたことに伴う条文内の文言の変更や関係条項の削除、固定資産税の能登半島地震の被災に係る特例について、条項の追加など。

●専決処分の承認を求めることについて 板野町国民健康保険税条例の一部改正について

地方税法の改正に伴うもの。国民健康保険税の上限が113万円に引上げとなる一方、1人当たりの軽減基礎額（税が軽減される基準となる額のこと）の引上げにより低所得者に係る軽減判定の拡充を図る。

●専決処分の承認を求めることについて 板野町会計年度任用職員

員の給与及び費用弁償に関する条例の一部改正について

会計年度任用職員に係る期末手当支給率を引き上げるための一部改正。

●板野町税条例の一部改正について

主な改正点は、物価指数等の上昇を踏まえ、家屋及び償却資産に係る免税点（税金が免除される基準のこと）をそれぞれ引き上げ、令和9年度以後から適用するため

●災害弔慰金支給等に関する条例の一部改正について

地震や豪雨等の自然災害に備え、平時から被災者支援体制を整備することを目的とし、新たに専門家等を委員とする「板野町災害弔慰金等支給審査会」を設置するための一部改正。

人事案件

●板野町農業委員会委員の任命に

同意を求めることについて

14名の農業委員の任命に同意。女性農業委員の割合が3割を超えました。

井上 孝昭 氏

西岡 明美 氏

豊永 好史 氏

藤井 美穂 氏

小川 洋 氏

森川 博之 氏

川岡 幸次 氏

高原 一禎 氏

竹内 宏典 氏

荒瀬 和美 氏

石川 五重 氏

中川千賀子 氏

稲實 孝二 氏

鳥羽 宏和 氏

請願・意見書

●「イランをめぐる軍事行動の即時停止と外交による平和解決を

求める意見書」の提出を求める
請願書

紹介議員は石田 実議員。意見書の提出を求める請願書を提出。

●イランをめぐる軍事行動の即時停止と外交による平和解決を求める意見書

意見書の提出を可決し、同日付で衆議院議長・参議院議長・内閣総理大臣・外務大臣宛てに送付。

中東地域における軍事衝突の激化は、世界の平和と安定を脅かすだけでなく、エネルギー供給や物価高騰などを通じて日本国民および地域住民の生活にも重大な影響を及ぼしている。

非核平和都市宣言のもと、恒久平和を訴え続けてきた本議会として、これ以上の犠牲を防ぐため、日本政府はイランをめぐる軍事行動の即時停止と、平和的解決のため対話での積極的な外交努力を主導することを求める。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

徳島県板野郡板野町議会

質問事項：避難所の集約化について

「集約化」で 人的資源の有効活用を！



くすもと ちくさ 議員
楠本 千草

問

「避難所の集約化について」質問

する。「集約化」と聞くと避難所を減らすというイメージを持つかと思われるが、本来の集約化は、限られた人員を効率的に配置し、避難所にいる人だけではなく、在宅避難者も支援するための仕組みと捉えて考えていただきたい。大規模災害が発生したとき、避難所を分散したまま運営すると、限られた行政職員や支援者の人員が各避難所に配置され、在宅避難者への支援や見守りに十分な力を振り分けることが難しくなることが懸念される。板野町は避難所の集約化について、どのような考えを持っているか。また、現行の避難所運

営マニュアルは、運営・集約・閉鎖までを想定した運用になっているか。

答

避難所の集約化については、ライフラインの復旧状況等に合わせ、段階的かつ計画的に進めていく方針としている。避難者の健康上の影響も考慮し、慎重に判断する必要がある。

「板野町避難所運営マニュアル」は、避難所の統廃合や閉鎖についての記載はあるものの、避難所の集約から閉鎖までのフェーズを明確化するアップデートが必要である。

問

限られた人的資源を有効活用するために集約化は絶対

に必要と思うが、どう考えるか。

答

避難所を集約することにより生じた人的資源等を在宅避難者への物資供給や安否確認・健康見守りといった支援に振り向けるとともに、集約後の避難所の環境改善に集中させることが、町民全体の命と健康を守る上で重要となる。避難所運営と在宅避難者支援を両立させるためにも、大規模災害時には、被災状況を見極めながら避難所の計画的な集約化を進めていく必要がある。

問

近年、防災気象情報は大きく変化をしており、住民避難の判断材料も多様化

している。避難所運営マニュアルに最新の防災気象情報や避難所集約を反映する考えはあるか。

答

今年度に更新予定の板野町総合防災マップにも反映し、併せて、避難所運営マニュアルについてもアップデートが必要であるため、今後、検証・改訂を行っていく。



一般質問の全文は、板野町議会ホームページに掲載しています。

質問事項：車両確保費1億4,300万円の 内訳について

疑惑をこのままに してよいのか！



みはら だいすけ
三原 大輔 議員

問

中央広域環境施設組合が行う積

替保管施設整備事業に係る車両確保費1億4,300万円の支出の内訳について。まずは、腐食

防止加工工事と事業補償7,126万円。この写真パネルを御覧いただき

たい。荷台にステンレスでの腐食防止加工の跡は一切見当たらない。町長

はこの写真を御覧になって、どのようにお考えか。

は、この写真を御覧になって、どのようにお考えか。



▲写真パネル(運搬車両荷台部分)

答

係争中のため、答弁は控えさせていただきます。

ただ、

問

洗車場整備約2,300万円、高圧洗浄機2台で400万円

が使われたことについて。税金を使い民間企業が自社内に洗車場という固定資産を作った。

また、高圧洗浄機2台を400万円、1台200万円で購入した。洗車場と洗車機について答弁をお願いする。

係争中のため、答弁は控えさせていただきます。

洗車が必要なら、自前の洗車場を組合の敷地内に建設するか、洗車業務を外部委託すれば済む。町長

はこれを車両確保の一環だと思ふか。

係争中のため、答弁は控えさせていただきます。

係争中のため、答弁は控えさせていただきます。

問

管理職員を6か月前から雇い教育をしたという名目で300万円、また、運転手の教

育費として1,260万円が計上されている。町長は、この教育費の妥当性について組合から説明を受けているか。

係争中のため、答弁は控えさせていただきます。

その他・諸経費・消耗品として500万円が計上されている。これは何に使われたか。

問

係争中のため、答弁は控えさせていただきます。

係争中のため、答弁は控えさせていただきます。

答

係争中のため、答弁は控えさせていただきます。

問

これまで1億4,300万円の内訳を伺ってきた。町長は組合から、これらの支出について、事前に説明を受けていたか。

答

係争中のため、答弁は控えさせていただきます。

答

係争中のため、答弁は控えさせていただきます。

問

この1億4,300万円は、既に支払い済みだ。不当な支出ではないという方が難しいと思う。これらの一部でも不当と認められるなら、板野町として組合に返還請求をする考えはあるか。

係争中のため、答弁は控えさせていただきます。

町長自身で不正の有無を調査する考えはあるか。調査しなければ不正は永遠に判明しない。

再問

町長自身で不正の有無を調査する考えはあるか。調査しなければ不正は永遠に判明しない。

係争中のため、答弁は控えさせていただきます。

答

係争中のため、答弁は控えさせていただきます。

その他の質問

中央広域環境施設組合が積替保管施設整備事業を行うに際し、公募前に複数業者から取ったとされる見積りについて

質問事項：①住民を守る防犯環境の整備について
②「生きる力」を育む教育について

防犯設備の強化で 安心な暮らしを！



ふじた ちほ 議員
藤田 千穂 議員

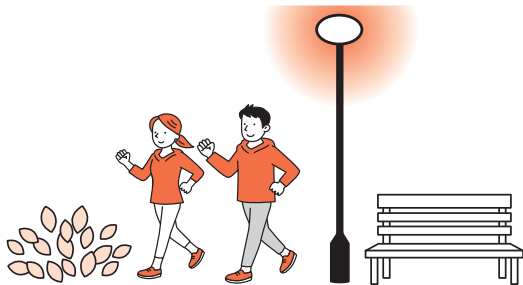
質問①

問

全国で組織的な事件が相次いでいる中、板野町でも住宅侵入や窃盗害が多発している。板野町が管理する防犯カメラについて設置状況は？自治会や商店街などを対象に、設置費用の一部を補助する「徳島県防犯カメラ設置支援事業補助金」もある。事件の早期解決や抑止力、行方不明者の早期発見などのために、今後防犯カメラの増設予定はあるか。また、防犯灯についての設置状況と要望に対する充足はどのような状況か？設置要望の待機が増えているが改善は可能か？

答

役場周辺に5台、各小中学校の周



辺に合わせて30台を設置。また、町管轄以外に道の駅いたのや警察が設置している学校周辺の見守りカメラもある。増設の計画はないが、要望に合わせて検討していく。防犯灯は、町内全体で1,869本。既設防犯灯のLED化を重点的に行っており、要望に対し新設が少ない状況。必要な箇所に適切に設置できるよう努める。

質問②

問

田舎や地方で育つ子どもたちは、

一昔前であれば、自然あふれる環境で思いっきり遊び、交流し、教科書の外の世界からも「生きる力」を育む機会に恵まれてきた。昨今では防犯などの観点から難しい傾向にあり、都会に比べ地方は学びの機会が少ない。また、文化芸術における体験や子どもだけの力だけでは出会えない「人・物・事」につながる体験の支援をもう一步踏み込むことで、未来をひらく力を育む一助になると考える。「先生の働き方改革」と両立し、充実を図るために、徳島県教育委員会では「外部人材の積極的活用」も提案している。今後の

板野町の教育方針を教育長就任に当たりお聞きしたい。

答

子どもたちの無限の可能性を引き出し、認め合い、更に広げていく教育が極めて重要。人と交わり物に触れ、想像する体験などを通して、子どもたちの可能性を最大限に引き出し、地域の方々との交流を大切にしている。子どもたちに接する学校現場を尊重しながら、教育委員会としての方向性を示し、広げ、深めていきたい。

一般質問の全文は、板野町議会ホームページに掲載しています。

質問事項：①会計年度任用職員の処遇改善について
②熱中症対策について

熱中症対策 エアコン設置に 助成金を！



いしだ みおる
石田 実 議員

質問①

問 会計年度任用職員は常勤職員の給与改定があれば、当該常勤職員の給与に準じて改定される。町では板野郡副町長会で処遇について協議して決めると言っていたが、結果どうだったか。

答 今年2月の板野郡副町長会において協議したが、結論が出ず引き続き協議する。その結果を踏まえた対応になる。

質問②

問 熱中症対策で警戒アラートが発表された場合の取組は。

再問

答 熱中症警戒アラートが発表された場合、防災行政無線で広報してはどうか。

再問

答 熱中症警戒アラートが発表された場合、防災行政無線で広報してはどうか。

答 各種教室などにおいて熱中症予防に努めている。

再問

答 熱中症警戒アラート発表時の防災行政無線の活用は考えていないが、熱中症特別警戒アラート発表時には、生命の危機が広域に迫る特例的な事態と捉え、クーリングシエルの開設等と連動し、防災行政無線を用いた放送について検討してまいりたい。

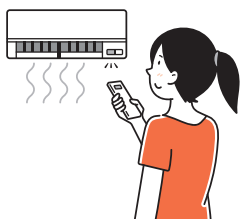
再問

答 熱中症警戒アラート発表時の防災行政無線の活用は考えていないが、熱中症特別警戒アラート発表時には、生命の危機が広域に迫る特例的な事態と捉え、クーリングシエルの開設等と連動し、防災行政無線を用いた放送について検討してまいりたい。

問 消防庁の資料で、令和7年度5月から9月までの間で、救急搬送された人の発生場所に、住居が約38%。自宅にいても安心ができない状態である。やはり高齢になると体温調整機能が低下して暑さを感じなくなるといわれている。

再問

答 熱中症警戒アラート発表時の防災行政無線の活用は考えていないが、熱中症特別警戒アラート発表時には、生命の危機が広域に迫る特例的な事態と捉え、クーリングシエルの開設等と連動し、防災行政無線を用いた放送について検討してまいりたい。



一般質問の全文は、板野町議会ホームページに掲載しています。

全員協議会報告

6月8日に開催された全員協議会での協議内容について報告いたします。

広域斎場整備事業について

現在、予定どおりに事業は進行中

《板野町・石井町・神山町で進めている広域斎場整備事業の経過報告》

造成工事

現在、斎場用地の造成工事に取掛かっており、令和8年7月末までをめぐに盛り土造成を行います。

本体工事

令和8年9月頃から令和9年1月頃まで基礎工事を行う予定であり、建物上部構造の工事着手は、それ以降となります。

令和10年4月の稼働開始を目指しておりますが、原油をめぐる現在の世界情勢において、今後の工事資材の調達に遅延を生じるリス



▲工事を行った道路の一部の写真
※堤防道路(県道122号)付近より西方向撮影

クもありますので、協議を重ねながら、可能な限り工期内での工事完了に努めてまいります。

前面道路改良工事

吉野川堤防道路から斎場用地までに掛かる延長約340mの道路区間(石井町の町道高原131号線)のかさ上げ及び拡幅工事が、写真のとおり、路面の舗装を除いて令和8年3月末に

完了しております。路面の舗装については8月頃の施工を検討しております。また、この区間から更に西方の道路区間について、道路南側水路の改良工事に着手できるよう準備が進められております。

学校給食における異物混入について

6月5日、板野西小学校の給食で提供したカレーうどんを1年生の児童が食べ終えた際に、食器の底に約1cm×0.5cmの金属片を発見しました。直ちに給食センターに持ち帰り確認をしたところ、野菜切断用の調理器具のスライサーの刃の一部が欠落して

おり、混入したことが判明しました。にんじんをスライスした際に破損し、欠けた刃が混入したものと考えられます。児童はスライサーの刃は飲み込んでおらず、健康被害等はありません。他の幼稚園・小学校・中学校においても直ちに状況確認を行い、同様の異物混入や問題はありませ

んでした。委託業者には直ちに調理器具の緊急点検・一斉点検を指示しました。その結果、ほかに破損や異常等はございませんでした。調理器具の点検体制については、調理前・調理後・洗浄後の計3回、2名1組による確認を実施して

おりましたが、調理後の確認時にスライサーの刃の破損を発見することができず、管理監督責任を非常に重く受け止めております。さらなるチェック体制の強化とともに対応策を講じるよう指示をいたしました。二度とこのような事故を起こさないよう、今以上の確認体制を図ってまいります。

●議員より主な質問等

問 壊れやすいものではないと思いますが、何故でしょうか。

答 スライサーの刃については、日常点検を調理業者が行っております。全体の調理器具については、年1回、納入業者が保守点検を行っております。昨年8月の保守点検では、刃を持ち帰り研磨するのですが、異常なしと報告さ

れておりますので、その後に金属疲労などの目視では確認できないところから欠損が発生したと考えられます。

問 業者の方からの再発防止策の回答がありましたか。

答 調理後の点検について、今までは、いろんな種類の食材の調理が全て終わってから点検していましたが、切った食材ごとに、プラスチックというカゴに入れるんですが、今後はそのプラスチックごとに刃の欠損がないか確認する、また、22枚の刃が付いておりますので、刃に番号を付けて、欠落がないか確認を行う形で改善案が来ております。

問 保護者に対して「すべー」で連絡いただきましたが、「お皿の底に入っていない」「子ども

の口には入っていない」という事実が含まれていませんでした。不安をかきたてる形になっていたのでは、個人情報情報を特定しない範囲で分かる情報は教えていただきたいです。

答 連絡するときは状況が分かるような形で文書も作成させていただきます。

板野町新型コロナウイルス感染症等対策行動計画について

板野町新型コロナウイルス感染症等対策行動計画を改定

板野町新型コロナウイルス感染症等対策行動計画は、新型コロナウイルスエンザ等対策特別措置法に基づき、板野町の感染症対策の基本方針を定めるものです。

このたびの改定は、新型コロナウイルス感染症への対応で浮き彫りとなった課題や教訓を踏まえ、国が令和6年7月に政府行動計画を抜本的に改定し、徳島県においても令和7年1月に県行動計画の見直しが行われたことから、国・県の最新の方針と整合性を図りつつ、今後の新たな感染症危機に対して、より実効性の高い対応を可能とするため、計画全般にわたる見直しを行いました。今回の改定により、未知の感染症が発生した際においても、町民の皆様の生命と健康、平穏な生活を守るための危機管理体制を構築してまいります。

【主な変更点】

① 感染状況に応じた柔軟な対応への移行

ウイルスの病原性や感染力、町の感染状況に応じて、より柔軟な対策を講じられる仕組みへと再編しました。

② 医療・保健体制の確保と関係機関との連携強化

県や関係医療機関との連携手順をより明確化し、ワクチン接種体制の迅速な構築や住民への医療提供が滞りなく行われるよう、実務的な記載を拡充しました。

③ 町民への的確な情報発信と役割機能の維持

SNSや防災システム等を活用したリスクコミュニケーションの強化を明記したほか、感染拡大時に町の重要な行政機能を維持するための改定を行いました。

● 議員より主な質問等

問 ころいつ頃にLINEでの情報提供が重要。LINEで情報提供ができるよう整備し、それが整備された後には、多くの方に登録していただけるよう、広報活動をしつかり進めていただきたいです。

答 LINEの導入については、来年度より進めていく予定です。

～板野町新型コロナウイルス感染症等対策行動計画(抜粋)～

改定となった部分を一部抜粋してご紹介します。

※板野町ホームページでは、本計画を全て掲載しております。



▼第1部第1章 第3節より「様々な感染症に幅広く対応できるシナリオ（時期区分）」

時期区分	定義・状態及び対応の方向性
準備期	国内外における新型コロナウイルス等の発生の情報を探知するまでの平時の段階。抗インフルエンザウイルス薬等の備蓄、ワクチン接種体制の整備、町及び事業者における事業継続計画（BCP）の策定と見直し、町民に対する啓発、DXの推進や実践的な訓練等、事前の準備を周到に行う。
初動期	国内外における発生の情報を探知して以降、政府対策本部が設置され、基本的対処方針が実行されるまでの段階。未知の感染症の特性を把握しつつ、直ちに初動対応体制へ切り替え、情報収集・共有を強化して感染拡大に対する準備の時間を確保する。
対応期	政府の基本的対処方針が実行されて以降の段階。以下の状況に応じて対策を柔軟に切り替える。 ・ 封じ込めを念頭に対応する時期：限られた知見の中で、入院措置や積極的疫学調査の支援等により感染拡大を抑え込む。 ・ 病原体の性状等に応じて対応する時期：感染拡大が進んだ場合、病原性や感染力のリスク評価に基づき、医療提供体制のキャパシティ内に流行を抑制するためのまん延防止措置を講じる。 ・ ワクチンや治療薬等により対応力が高まる時期：科学的知見の集積とワクチンの普及に合わせて、適切なタイミングで対策を柔軟かつ機動的に切り替える。 ・ 特措法によらない基本的な感染症対策に移行する時期：免疫の獲得等により、特段の行動制限等を伴わない日常的な感染症対策へと出口戦略を進める。

▼第2部第1章 第1節より 各課の役割分担表

担当課	主な対策業務の所管
総務課	対策本部の運営統括、全庁的な総合調整、BCPに基づく体制見直し、防災行政無線等による広報統括、物資（マスク等）の備蓄管理。
福祉保健課	徳島県（保健所）との連携、相談窓口の設置・運営、ワクチン接種事業の統括、要援護者や自宅療養者への生活支援、心のケア。
産業課	町内事業者へのBCP策定啓発、経済団体との連絡調整、生活必需品の流通状況監視、休業要請等への協力・支援金等の対応。
住民課	死亡者発生時の対応（火葬場等の調整）、各種証明発行業務の継続。
建設課・水道課・下水道課	道路、上水道、下水道等の重要ライフラインの維持管理の継続。
環境生活課	一般廃棄物（ごみ・し尿）の適正処理の継続、環境衛生の指導。
教育委員会	町立学校等における感染防止策、臨時休業（休校・学級閉鎖）の判断、児童生徒の家庭学習支援の実施。

議員レポート

令和8年度
町村議会議長・副議長研修会



令和8年5月26日、東京国際フォーラムホールAにおいて、全国町村議会議長会主催の「令和8年度町村議会議長・副議長研修会」が開催され、議長と副議長が出席をしました。

全国町村議会議長会会長による開会挨拶の後、一般財団法人地域活性化センター理事長 林崎 理氏による講演「地方創生の先行き―地域未来戦略とともに―」、東海大学教養学部人間環境学科教授 万城目 正雄氏による講演「人口減少社会における外国人材の確保・育成の実践」、京都女子大学学長 竹安 栄子氏による「男女共同

参画で地域を元気に」人口減少社会を生き抜く方策」、「女性模擬議会の取組」町制施行69年の空白を経て、女性議員の誕生・新しい風が吹く町へ」という、4つの講演を聴講しました。

議会のうごき・出席行事等

4月

- 6日 藍住町議会 正・副議長 来訪（就任挨拶）
- 7日 徳島市議会 正・副議長 来訪（就任挨拶）
- 9日 板野東・西・南小学校 入学式
- ・板野中学校 入学式
- 22日 阿波市議会 正・副議長 来訪（就任挨拶）
- 24日 板野郡町議会議長会定例会

5月

- 16日 板野町戦没者追悼式
- ・議会広報特別委員会
- 22日 板野町商工会総会
- 23日 板野東・西・南小学校 運動会
- 26～27日
- ・町村議会議長・副議長 研修会（東京都）
- ・地元国会議員意見交換会
- ・板野郡町議会議長会 研修会

6月

- 1日 議会運営委員会
- 2日 産業建設常任委員協議会（町単箇所付）
- 8日 6月議会定例会1日目（開会・町長提案理由説明等）
- ・議員全員協議会
- 9日 産業建設常任委員協議会
- 10日 総務文教常任委員協議会
- 11日 厚生常任委員協議会
- 16日 6月議会定例会2日目（一般質問）
- 17日 6月議会定例会3日目（議案審議・閉会）
- ・議会広報特別委員会

編集後記

7月に発生した大地震では、熊本県に甚大な被害が発生いたしました。心よりお見舞い申し上げますとともに、一日も早い復旧・復興をお祈り申し上げます。板野町も断層による大地震のリスクを抱えています。この機に、ご家庭での備えや地域での助け合いについて、改めて考えていただけますと幸いです。議員として、地域と行政をつなぐ役割を果たせるよう、努めていかなければと改めて気が引き締まる思いであります。

議会広報特別委員会委員長

藤田 千穂

議会だより意見募集

議会だよりを、より充実した内容にするため、町民の皆様のご意見を募集します。議会だよりについてご意見いただける方は、下記の連絡先（電話・メール・FAX）まで、お願いいたします。

傍聴のご案内

定例会は、3月・6月・9月・12月に開催します。議場でどのような発言をしているのか、お越しいただき、お確かめください。お問合せは議会事務局まで。

電話 088（672）5991